

機関誌の
ご担当者様へ

読まれる・伝わる 機関誌クオリティアップ術

10月27日は
機関誌の日

第5弾

日時

2017年10月27日(金)
14:00~17:15(受付13:30~)

場所

エッサム神田ホール 〒101-0047
2号館 東京都千代田区内神田3-24-5
6F 2-601 中会議室

参加費

無料 ※複数名でのご参加お待ちしております。

機関誌の日とは…

日本で最初の本格的な雑誌である「西洋雑誌」が創刊されたのが1867年(慶應3年)10月であることを由来とし、27日は「つなぐ・つながり」を表しています。(一社)日本記念日協会より10月27日が“機関誌の日”として正式に認定されました。

昨年、機関誌制作に携わられているご担当者さま全てに敬意を表し、10月27日を“機関誌の日”として新たに制定いたしました。今年も“機関誌の日”記念イベントとして、大好評の「読まれる・伝わる機関誌クオリティアップ術」を開催。特別講演として認定NPO法人地域精神保健福祉機構コンボより丹羽大輔氏、続く講義では株式会社サンマーク出版より常務取締役編集長 高橋 朋宏氏を招き、機関誌制作の秘訣をお伝えします。お申込みはFAXにて受け付けております。ふるってご参加ください。

講師紹介

▶ 特別講演 14:15 ~ 14:55

機関誌をイチから創り上げるということ
~『こころの元気plus』創刊125号の軌跡とメディア活用

- 機関誌立ち上げの軌跡
- 機関誌を制作する意義
- 機関誌を中心としたメディア戦略



認定NPO法人
地域精神保健福祉機構コンボ
丹羽 大輔 氏 (にわだいすけ)

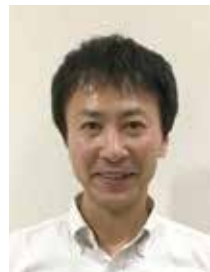
1963年、岡山県生まれ。1988年に中央大学を卒業後、バックパッカーとして海外を放浪。1989年に電気通信大学勤務、1993年より(財)全国精神障害者家族会連合会勤務。同会にて機関誌月刊「ぜんかれん」の編集を担当。2007年に特定非営利活動法人、地域精神保健福祉機構設立に加わり、同年機関誌『こころの元気plus』を創刊、編集長をつとめる。趣味は映画鑑賞。退職後には再びバックパッカーとして海外放浪をしたいと企んでいる。

▶ 講義 15:15 ~ 16:45

どうすれば、「読まれる」のか？
~落ちこぼれ編集者がベストセラーを出せた理由

- 読者を惹きつけるポイント
- 質の高い原稿のつくり方
- タイトル・見出しのつけ方

あの
大ヒット作
の生みの親!



株式会社 サンマーク出版
常務取締役 編集長
高橋 朋宏 氏 (たかはしともひろ)

1996年、サンマーク出版に入り、新雑誌の創刊編集長に就任するものの大失敗。その後、書籍編集者に転向。『病気になる生き方』『人生がときめく片づけの魔法』がミリオンセラーとなる。

特典1 先着10誌の機関誌を無料診断!

機関誌見本とPDFをご用意いただき、後日、診断結果をお渡しいたします。

特典2 参加無料の個別相談・懇親会開催!

機関誌づくりの疑問解消や情報交換の場として、ぜひご参加ください。講師も参加いたします。

お申込み



0120-326-707 [24時間受付中]

締切

2017年10月25日(水)

FAX用申込書

団体名	参加人数	名	<input type="checkbox"/> 特典1を希望する
フリガナ	フリガナ	フリガナ	<input type="checkbox"/> 特典2を希望する
参加者氏名(1)	参加者氏名(2)	参加者氏名(3)	
電話番号 ()	メール	@	

主催



DAIICHI
SHIRYO
PRINTING

第一資料印刷株式会社 〒162-0818 東京都新宿区築地町8-7 TEL 03-3267-8211

担当: 森田・金子
榎本・小林

*申込者の個人情報は、お問い合わせ内容に関する事務連絡、当社の事業やサービス、商品のご案内などに利用するものです。上記目的以外の利用や第三者への提供は、法令に基づく場合を除き、一切いたしません。